

令和4年度 日本大学藤沢小学校 自己評価票

【本校の目指す学校像】

本校の教育活動の中で、豊かな知識（学力）、諦めない心（気力）、頑張れる体力を児童に身につけさせ、何事もくじけることなく、力強く、今後ますます複雑化するグローバルな社会で自分の考えをもって歩み続けることができる、生きる力（自主性と創造性）を持った心豊かな人間を育てることを目指す。

【本校の特長及び課題】

学習の中では、土台となる国語、算数、体育に力を入れ、基礎学力、基礎体力の育成を行う。宿泊行事（防災訓練1泊、林間学校2泊3日、スキー教室3泊4日）の実施や、交通安全教室・防火防犯教室等の講演会により、生活習慣の確立と物事に対するやり抜く気力、児童相互の協力や思いやりの気持ち、自らを守ることへの意識を育てていく。

今後の課題は、児童の「学力と体力の向上」、「自他の尊重の意識や他者への思いやりなどの涵養」を踏まえた、6年間の安定した教育内容を作り上げることにある。

令和4年度の取組結果

【概況】

行事として授業参観や運動会・文化祭は、保護者の方の見学含め実施し、保護者の方にも見ていただく機会を増やすことができた。他にも、中学校や高等学校、大学の施設を使っての縦割り遠足や縄跳び記録会、書初め会などの行事も工夫をしながら実施することができた。宿泊行事についても、3年ぶりに3年生での防災宿泊訓練や6年生の修学旅行を行うことができた。行事では1年生から6年生までの縦割りでの活動や委員会が企画をしながら取り組む機会が増えているので、上級生が下級生の面倒を見ていたり、学校と児童が協力して取り組んでいたり、児童同士の良い関係ができていて、明るい学校の雰囲気が出てきている。

学習については、発達段階ごとに学習に対する興味づけや視野を広げられるように工夫を行い、自分で考えて学ぶ姿勢を身につけられるよう努めている。また、学力差が大きくなってきている児童に対しては、担当者が昼休みや放課後に個人的に教えるなどしながら、授業がつまらなくなる工夫も行っている。

自分の持ち物は自分で整理整頓をして管理ができるように意識させるなど、計画的に自分で考えて行動ができる姿勢を育てている。

健康面においては、手洗いなどを含め、体調管理を意識して過ごすことにより、楽しい学校生活を送ることができるようにしている。

教育活動

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
基礎学力の育成	基本的な内容をしっかり理解させるように取り組んだ。毎日の積み重ねが必要であるので、宿題などを適宜児童に渡し、また、外部実力テスト9月、2月、算数検定と漢字検定を10月に実施する計画も含めて、目標を持たせた上で達成感を感じられるようにしている。 自分で学ぶ姿勢を身につけられるように工夫しながら学習指導を行い、教員が授業時間の確保に努めるとともに、学習が遅れ気味の児童には昼と放課後に個別指導を実施している。6年生は8月から特別補習を実施した。	A
気力・体力の育成	学校行事については、児童に経験を積んでもらうことと小学校での思い出をつくらせてもらうために、できる限り工夫をしながら実施した。行った行事は、春の遠足（大学構内）、運動会、秋の遠足（学年ごとに校外へ）、文化祭（体育の演技発表・音楽発表・図工作品の展示）、縄跳び検定記録会、書初め会等である。縦割りで活	B

	<p>動をすることにより異学年の児童との交流を持ったり、自己の目標をかなえられるように、最後まで粘り強く取り組む姿勢を持たせたり、心身共に成長できるように考えて取り組んだ。</p> <p>※気力・体力の育成を考えて企画している持久走記録会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、縄跳び検定記録会に変更。</p> <p>宿泊行事：3～5学年 林間学校7月（清里高原2泊3日）、希望者対象スキー教室12月（菅平3泊4日）は、新型コロナウイルスによって中止。</p>	
授業の改善に向けた取組	<p>授業は適宜見合えるようにして、授業についての情報交換を行いやすくしている。管理職も授業を適宜観察して、その都度気になったことを伝えている。</p> <p>授業担当者は教科主任と授業の内容や進捗について打合せを行い、年間計画に沿った内容・進捗であるかを確認している。保護者への授業参観は各学期1回（年3回）実施した。</p>	A

学校生活への配慮

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
良い人間関係の確立	<p>適宜「挨拶をしっかりしよう」、「嫌な声掛けはしない」という声掛けを児童に行い、お互いが気持ちの良い学校生活を送ることができるように考えてもらっている。委員会活動の取組として、『チクチク言葉・フワフワ言葉を考える』取組も行っている。各学期の終業式において、児童それぞれが活躍した取組を紹介し表彰することで、お互いを尊重する態度を育むよう努めた。</p> <p>6月には外部講師を招き、保護者向けに「子どもと寄り添うこと」についての研修会を実施した。</p>	A
清潔な環境の整備	<p>清掃は児童と教職員が一緒に行い、過ごしやすい環境の大切さを子どもたちに伝えている。また、清掃業者が毎日清掃業務に入っている。2学期から通常時間の登校となったことに伴い、全校児童で一斉に掃除を行うようになった。掃除場所も増やし、自分たちが使う特別教室の掃除も行った。通年で1・2年生の教室掃除は5・6年生が手伝った。また、環境委員会の活動として、トイレの手洗い場にポスターを貼り、きれいに使うよう、啓発活動を行った。</p>	A
いじめ防止のための取組	<p>学級の状況、児童間の人間関係等を把握するための『アンケート』（1回）及び『子どもの社会的スキル横浜プログラム（Y-P）』（2回）実施し、悩みを持っている児童や気になる児童に対して声掛けを行い、嫌な思いをせずに学校生活が送れるように対応をした。相手を傷つける、嫌な思いをさせる言葉はどのようなものかを日頃から児童に意識させている。また、外部講師を招き、情報モラル教室を行い、SNSでの友達との関わり方等についての意識を高めた。</p> <p>8月に教員を対象にいじめについて考える研修会を実施した。なお、いじめ防止基本方針を作成しホームページに掲載している。</p>	A

課外活動

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
異なる学年間の交流	<p>1年生から6年生までの児童が縦割りの活動で「1年生を迎える会」、「春の縦割り遠足」、「文化祭の作品鑑賞」、また、「6年生を送る会」に取り組んでいる。</p> <p>行事を通して上級生が下級生の面倒を見ながら（下級生に配慮しながら）、一緒に班で行動する取組を行っている。</p>	A

	2学期からは、教員と児童が共に学習や運動を行う「遊学タイム」を放課後16時まで実施した。	
学習のサポート	教科担当者が理解に時間がかかる児童に対して、プリントなどを適宜渡し、朝の時間や昼、放課後(短時間)に分からなかったところの指導している。なお、遊学タイムでは、「何でも質問コーナー」を設置し、学習サポートを行った。 また、農場での学習(実習)では大学生による指導サポートを行ってもらうことができた。なお、生物資源科学部の学生による学習サポートは感染防止のため中止。	B

進路指導

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
将来への夢を形成する	4年生1月、5年生1月、6年生9月に藤沢中学校への進路希望調査を行い、児童の進路について計画的に家庭で話し合ってもらっている。 藤沢中学校には進学説明会を実施してもらい、また、生物資源科学部や外部講師による特別授業を行い、様々な職業について興味付けを行った。進学に向けて意識を高めるために、卒業生による講演を行った。	A
日本大学藤沢中学校への進学者数増加に向けた取組	遠足や学級活動を藤沢中学校や高等学校、生物資源科学部の施設を利用して行っている。また、生物資源科学部の教員による特別授業を実施し、様々な視点から教科に興味を持ってもらえるように働き掛けている。日本大学の魅力を伝え、帰属意識も高めるために、始業式などに日本大学の理念に触れて話をしている。	A

保健衛生

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
健康的な生活	体温・かぜ症状の有無の「健康観察の記録」を毎日保護者に記載していただき、児童の健康観察を行った。また、「ほけんだより」を配布したり、保健室前にポスターを掲示したりして適宜必要な情報や注意喚起を行った。 健康診断や1年生の希望者を対象に色覚検査を行った。 持久走は昨年度に引き続いて中止のため、持久走検診は行わなかった。	A
安全の確保	校舎内では出会い頭の事故が起きないように、日頃から走らないように声掛けを行い、環境委員会がポスターを作成・掲示した。また、環境委員会が廊下中央にテープを貼って歩く方向を一方通行にした。中休み・昼休みの児童が校舎外に出る時間帯は、教員が常に見守るように努めた。避難訓練を企画・実施した。また、学期始めには教員が児童の下校(最寄り駅まで)の様子を見守り、安全の確保に努めた。教職員を対象に緊急時に備えて心肺蘇生法・エビペン講習を対面形式で実技を中心に開催した。	A

図書

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
読書量の増加	1, 2年の国語の授業を週1時間、図書室で読書の時間として実施し、3年生も週1時間、図書室を優先的に使用できる時間を設けた。充実した調べ学習が行えるように、中高や市の図書館からも図書を借りられるように整えている。また、定期的に「図書室だより」を配布し、読書に対する意識付けを行った。読書記録を用意し、自身の成長も感じられるようにした。長期休業に入る前に、推薦図書を児童に案内し、最大5冊まで借りられるようにしている。	A

	コロナの感染予防対策として、手指消毒や換気の徹底を始め、パーテーション設置や密を回避する工夫を行った。	
--	---	--

広報

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
募集活動	<p>学校説明会、個別相談会、授業見学会を実施し、本校の魅力について伝えた。幼児が本校に来校する機会を設け魅力を伝えるため、オープンスクールと文化祭作品見学会を実施した。また、ホームページの情報(お知らせ)も本校の理解を深めてもらえるように、当番を決め計画的に更新を行った。</p> <p>さらに、小学校連合主催の説明会をはじめ、幼児教室主催の説明会などにも積極的に参加したところ合計10回を超えた。また、幼児教室主催の受験報告会などにも参加し、年度ごとの受験傾向を把握した。</p>	A
広報活動	<p>本校に対する理解を深めてもらうために、幼児教室の訪問をはじめ、幼児教室担当者対象説明会を開催するとともに、本校近隣の幼稚園と保育園を訪問し、ポスター掲示や保護者への学校案内等の配布を依頼した。</p> <p>また、説明会の折などにタブレットPCを持ち込み、動画を用いて本校の魅力を分かりやすく伝えるとともに、時宜に合った内容を掲載したチラシを作成し、広く配布した。</p> <p>さらに、これまでのホームページに加えて、小学校連合主導によるインスタグラムを活用し、本校の魅力とともに、イベント開催情報についての広告を発信した。</p>	A

管理運営

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
定期的な会議の実施	<p>教務部会、生活指導部会、広報部会、児童会、教職員会議を定期的実施した。情報の共有に努めるとともに、共通認識で何事にも取り組むように努めた。</p>	A

※【A達成できた、B大体達成できた、Cあまり達成できなかった、D達成できなかった】

令和5年度取組目標及び方策

教育活動

取組目標	取組方策	取組スケジュール
基礎学力の育成	<p>各教科においては、目標設定をして意欲的に学習ができるようにしており、外部実力テスト、算数検定、漢字検定、英語検定を受検して、実力を把握している。</p> <p>教科担当が授業の始まりと終わりをしっかりと意識し、各教科の授業時間を確保している。学習が遅れ気味の児童には昼休みや放課後に個別指導を行い、遅れが広がらないようにする。</p>	<p>定期考査実施(年5回)</p> <p>実力テスト9月と2月</p> <p>四谷大塚模擬テスト(6年生)</p> <p>7月と10月</p> <p>算数検定・漢字検定10月</p> <p>英語検定1月</p>
気力・体力の育成	<p>宿泊行事:3年防災宿泊訓練(学校1泊)、春の遠足(林間学校に向けて体力づくりも含めて計画)、3年生から5年生全員参加の林間学校(清里高原2泊3日)、3年生から5年生の希望者によるスキー教室(菅平3泊4日)、修学旅行(6年)を実施し、集団生活における協調性や相手を思いやる気持ちの育成、体力増進を図る。持</p>	<p>春の遠足 4月</p> <p>運動会 5月</p> <p>防災宿泊訓練 6月</p> <p>林間学校 7月</p> <p>スキー教室 12月</p> <p>持久走など 2月</p>

	久力を測る行事を行い、諦めない気持ちも育成する。	修学旅行 2月
授業の改善に向けた取組	教員が相互に授業を見る。中高の教員との意見交換会を行う。適宜、管理職が授業を見て、教員と授業について意見交換を行う。 さらに、外部の研修会に参加を促し、教員各自のスキルアップができるようする。	8月 小学校連合研修会

学校生活への配慮

取組目標	取組方策	取組スケジュール
良い人間関係の確立	チクチク言葉・フワフワ言葉など、言葉について考えることについては、引き続き取り組む。様々な行事で発表や表彰をするなど、個々の児童が活躍できる場面を作ることを心掛ける。特に低学年においては、「友達のよいところ探し」をするなど、日常的な活動において良い人間関係が確立できるよう、指導をしていく。 また、情報モラル教育を実施する。	命の大切さについての講演会 5月 情報モラル教室 6月 ことばについて考える 6月
清潔な環境の整備	児童の机の中、ロッカーの中、下駄箱などを適宜整理する。校舎内外の清掃を児童と教職員が共に行う。中庭や校庭の草むしりや石拾いも協力して適宜行う。	清掃については、毎日
いじめ防止のための取組	いじめの早期発見や、学級の状況、児童間の人間関係等を把握するための『アンケート』及び『子どもの社会的スキル横浜プログラム(Y-P)』を行う。また、いじめ防止の教員研修を実施する。	いじめを早期に発見するためのアンケート(1回) 子どもの社会的スキル横浜プログラム(2回) 教員研修 8月

課外活動

取組目標	取組方策	取組スケジュール
異なる学年間の交流	児童会を中心に運動会、林間学校、スキー教室などの行事や縦割り交流会で、児童間の交流ができるように企画をする。また、縦割りでの掃除も継続して行う。 委員会活動を通して、よりよい学校を目指して自発的姿勢で取り組む。またその内容を、上級生が下級生に伝え、その姿を継承していく。 クラブ活動においても共通の興味をもつ異学年の児童で集まり、交流を図る。 放課後に行う学習や運動の時間としての「遊学タイム」は、異学年の児童同士の交流はもちろん、教員との関係づくりにも有益な取組であるため今後も継続していく。	1年生を迎える会 4月 運動会 5月 林間学校 7月 文化祭 11月 スキー教室 12月 持久走記録会 2月 6年生を送る会 3月
学習をサポート	教科担当者が学習の遅れの目立つ児童に対して適宜サポートをする体制を継続する。なお、教科担当者と担任との連携も密に行い、学習状況をきちんと把握し、朝学習などでできる学習サポートも継続していく。低学年	朝学習(毎朝8:30~8:45) 授業中サポート(主に低学年) 遊学タイムの学習サポート (月~金までの放課後活動)

	の授業では、補助教員を配置し、きめ細かく児童のようすを見て学習状況を把握し、サポートをする。また、遊学時における「何でも質問コーナー」や、生物資源科学部生による学習サポートも継続して行う。	
--	--	--

進路指導

取組目標	取組方策	取組スケジュール
将来の夢の形成	学活の授業において、今興味があることや将来やってみたいことについて考えてもらう。また、博物館見学など、大学の施設も含め色々な施設の見学を通し、将来について少しずつ考えてもらう。 各学年で生物資源科学部の教員による特別授業や講談師による特別授業を実施し、児童に興味の幅を広げてもらう。	年度始め・終わりのキャリアパスポート 特別授業（2年生～6年生：各学年年間2回ずつ実施）
中学入試に向けての取組	進学への意識を高めるために、5年生を対象に、卒業生による講演を継続して行う。他の中学に進学した児童と日本大学藤沢中学校に進学した児童より話をしてもらい、一人一人の進学、中学入試に向けての意識を高めていく。 また3～5年生の保護者を対象に、第一希望の中学に一般受験で合格をした6年生の保護者から、受験に向けての心構えなどを講演してもらい、保護者の意識も高める取組をしていく。	5年生（3学期） 3～5年生保護者対象（2月）
日本大学への進学者数増加に向けた取組	中学の行事や授業に参加することで、中学生が充実した学校生活や勉強、クラブ活動に取り組んでいることを知ってもらう。 生物資源科学部の教員による特別授業を実施する。また、日本大学藤沢中学校の進路説明会を実施する。	中学授業体験（5年 9月） 合唱コンクール参加（5年 2月）

保健衛生

取組目標	取組方策	取組スケジュール
健康的な生活を促す	健康診断、色覚検査（1年生希望者）、身体測定の実施、「ほけんだより」を適宜発行する。	4月 健康診断 9月 身体測定 10月 色覚検査（1年生希望者）

図書

取組目標	取組方策	取組スケジュール
読書量を増やす	1, 2年の国語授業のうち週1時間を図書室で実施。本の魅力が伝わるように「図書だより」などを適宜発行する。 調べ学習を行う時は、本校の書籍だけでなく、色々な機関から資料を集められるようにする。 各教科と連携をとり、授業でも図書室の利用を推進す	図書だよりの発行（各学期2回） 調べ学習（3年～6年）

	る。 委員会活動を通して、児童主体で図書室からの発信を行う。	委員会活動（４年～６年）
--	-----------------------------------	--------------

広報

取組目標	取組方策	取組スケジュール
募集活動	学校説明会、個別相談会、授業見学会を実施し、本校の魅力について伝える。幼児が本校に来校する機会を設け魅力を伝えるため、これまでのオープンスクールに加えて学校行事への見学も充実させていく。 ホームページの情報(お知らせ)も本校の理解を深めてもらえるように引き続き計画的に毎月更新していく。小学校連合主催の説明会や幼児教室主催の説明会などにも積極的に参加する。 また、幼児教室主催の受験報告会などにも参加し、継続して年度ごとの受験傾向を把握する。	４～９月（説明会） 私立小学校説明会への参加 ４・７月（オープンスクール）
広報活動	本校に対する理解を深めてもらうために、幼児教室の訪問をはじめ、幼児教室担当者対象説明会を開催する。また、本校近隣の幼稚園と保育園を訪問し、ポスター掲示や保護者への学校案内等の配布を依頼する。共働き家庭を含め多くの家庭に選ばれる学校であるために、アフタースクールなども充実させる。 説明会などにも動画を用いて、本校の魅力を分かりやすく伝えるとともに、時宜にかなった内容を掲載したチラシやポスターを作成し、広く配布する。 これまでのホームページに加えて、本校独自のアカウントを取得してインスタグラムでの発信を展開し、イベント開催情報等の広告の充実を図る。	４月（幼児教室・幼稚園対象説明会） ５月～幼児教室への出張説明会 １２月（年中以下対象施設見学会） １・２月（年中以下対象授業公開）

管理運営

取組目標	取組方策	取組スケジュール
定期的な会議実施	教職員会議、教務部会、生活指導部会、広報部会、児童会など分掌や委員会の会議を定期的実施する。	教職員会議 月２回 各部署会議 適宜
体育館、ＰＣ教室のパソコンの買換え・校庭・グラウンドの整備	マルチメディアシステムの設置や、机・椅子など、学習環境の整備を行う。 ＰＣ教室のパソコンの買換え、グラウンドなどの学校生活環境を整備する。体育館のWi-Fiや暖房設備についても、整備する。	ＰＣ教室の整備（４月）

中長期的目標及び方策

教育活動

取組目標	取組方策	取組スケジュール
基礎学力の育成	外部実力テストの実施(育伸社、四谷大塚など)	育伸社（１年～６年：９月・２

	算数検定，漢字検定の受検 I C Tを活用した授業の実施	月) 四谷大塚（6年：9月・10月）
英語力の向上	オールイングリッシュ授業の実施 英語検定，海外語学研修，国内語学研修，英語学習発表会の実施。	英語検定：1月 国内語学研修：8月 英語学習発表会：12月
藤沢高等学校・中学校との連携教育	実習や授業，行事での交流を通して藤沢高等学校・中学校の魅力を伝えていく。	日本大学藤沢中学校説明会：4月 文化祭や合唱コンクールへの参加等

管理運営

取組目標	取組方策	取組スケジュール
教員組織構成の適正化	専任教員の年齢構成バランスを考慮し，中・長期的な視点で採用していく。	規定の人数までは定期的に採用し，その後は定年退職を迎える教員が出た際に適宜採用していく。
施設設備の整備	校内での共通 Wi-Fi 環境整備 体育館の冷暖房整備 P C教室のスクリーンプロジェクター整備。 校庭等の環境整備等。	まず，P D教室の整備を行い，続いて Wi-Fi 環境整備，順次体育館の冷暖房の整備に取り掛かっていく。